議案第２号　　答申書（案）について

令和７年２月１７日

江差町長　照井 誉之介　　様

江差町総合計画策定審議会
会長　田畑　昌伸

第６次江差町総合計画について（答申）（案）

令和６年７月２２日付け江推進で諮問のありました第６次江差町総合計画の後期基本計画及び江差町デジタル田園都市構想総合戦略（第３期江差町まち・ひと・しごと創生総合戦略）について、当審議会で慎重に審議を重ねた結果、適切であると認め、下記の意見を添えて答申致します。

記

１　本総合計画に掲げた「**誇りある暮らしを未来へ紡ぎ、みんなでつくる自分たちごとのまちづくり　エエ町、江差**」を、あらためて行政（官）だけでなく、企業（産）と大学等（学）が連携し、それを住民（みんな）が共有・協働して、積極的にまちづくりに取り組むこと。
また、計画の趣旨や将来像をわかりやすく示し、地域の夢や希望が伝わるよう町内外への発信に努めること。

２　本総合計画の前期基本計画の多くの取組は、新型コロナウイルス感染症の影響で十分に展開することが難しかったことから、後期基本計画においては、前期基本計画で未達成の取組について、引き続き達成に向けて推進すること。

３　定住人口の増加に向けては、雇用と移住を一体的に捉えた対策を推進することが重要であり、地域の産業振興を図るとともに、新しい雇用を生み出す方策の研さんに努め、雇用創出の取り組みや移住定住につながる環境整備、さらには産学官連携事業の創出に努めること。

４　人口減少対策には、住みよく，若者にも働きやすい地域環境を整備することが不可欠であり、あらゆる分野においてデジタル環境整備（ＩＣＴの導入・ＡＩ技術活用）の有効性を検討し、担い手が減少する中でも地域の生活利便の維持・向上に努めること。

５　地域資源を守るとともに未来につなぐために、その重要性と将来性を住民と共有しながら、社会情勢の変化へ的確に対応し、「江差の地域性」を大切にした持続可能な地域づくりに努めること。